



## C コマンド

---

この章では、C で始まる Cisco NX-OS ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) コマンドについて説明します。

# clear bgp

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ルートを BGP テーブルから消去するには、**clear bgp** コマンドを使用します。

```
clear bgp {ipv4 {multicast | unicast} | all} {neighbor | * | as-number | peer-template name | prefix} [vrf vrf-name]
```

## 構文の説明

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>ipv4</b>               | IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。  |
| <b>multicast</b>          | マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。  |
| <b>unicast</b>            | ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>all</b>                | すべてのアドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。   |
| <i>neighbor</i>           | ネットワーク アドレス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。   |
| *                         | すべてのネイバーを消去します。   |
| <i>as-number</i>          | Autonomous System (AS; 自律システム) 番号。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。  |
| <b>peer-template name</b> | BGP ピア テンプレートを指定します。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。  |
| <i>prefix</i>             | 選択されたアドレス ファミリからのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。   |
| <b>vrf vrf-name</b>       | (任意) 特定の仮想ルーティングおよび転送 (VRF) コンテキスト名またはすべての VRF インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されません。 |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、すべての BGP エントリをクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp all *
```

# clear bgp dampening

BGP ルート フラップ ダンプニング情報を消去するには、**clear bgp dampening** コマンドを使用します。

```
clear bgp {ipv4 {unicast | multicast} | all} dampening [neighbor | prefix] [vrf vrf-name |
all | default | management]
```

## 構文の説明

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>ipv4</b>         | IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。   |
| <b>unicast</b>      | ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>multicast</b>    | マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>all</b>          | すべてのアドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。  |
| <i>neighbor</i>     | (任意) 選択したアドレス ファミリのネイバー。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。  |
| <i>prefix</i>       | (任意) 選択したアドレス ファミリのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。  |
| <b>vrf vrf-name</b> | (任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 |
| <b>all</b>          | (任意) すべての VRF から BGP 情報をクリアします。  |
| <b>default</b>      | (任意) デフォルト VRF から BGP 情報をクリアします。   |
| <b>management</b>   | (任意) 管理 VRF から BGP 情報をクリアします。  |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、BGP ルート フラップ ダンプニング情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp all dampening
```

# clear bgp flap-statistics

BGP ルート フラップ統計情報を消去するには、**clear bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
clear bgp {ipv4 {multicast | unicast} | all} flap-statistics [neighbor | prefix] [vrf vrf-name
| all | default | management]
```

## 構文の説明

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>ipv4</b>         | IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。  |
| <b>unicast</b>      | ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。  |
| <b>multicast</b>    | マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>all</b>          | すべてのアドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。   |
| <b>neighbor</b>     | (任意) 選択したアドレス ファミリのネイバー。形式は、IPv4 の場合は <i>A.B.C.D</i> です。  |
| <b>prefix</b>       | (任意) 選択したアドレス ファミリのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は <i>A.B.C.D/length</i> です。  |
| <b>vrf vrf-name</b> | (任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されません。 |
| <b>all</b>          | (任意) すべての VRF から BGP 情報をクリアします。   |
| <b>default</b>      | (任意) デフォルト VRF から BGP 情報をクリアします。  |
| <b>management</b>   | (任意) 管理 VRF から BGP 情報をクリアします。   |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、BGP ルート フラップ統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp ipv4 multicast flap-statistics
```

# clear bgp policy statistics aggregate-address

BGP トポロジ テーブルのポリシー統計情報を消去するには、**clear bgp policy statistics aggregate address** コマンドを使用します。

**clear bgp policy statistics aggregate-address** *prefix* {**advertise-map** | **suppress-map**}

## 構文の説明

|                      |  |
|----------------------|--|
| <b>prefix</b>        | サマリー アドレス。形式は、 <i>x.x.x.x</i> または <i>x.x.x.x/length</i> です。指定できる範囲は 1 ~ 32 です。 |
| <b>advertise-map</b> | アドバタイズ ポリシーのポリシー統計情報をクリアします。   |
| <b>suppress-map</b>  | 抑制ポリシーのポリシー統計情報を消去します。   |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、集約アドレスのポリシー統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp policy statistics aggregate-address 192.0.2.0/8
```

## 関連コマンド

| コマンド                              | 説明                  |
|-----------------------------------|---------------------|
| <b>show bgp policy statistics</b> | BGP ポリシー統計情報を表示します。 |

# clear bgp policy statistics dampening

BGP ダンプニングのポリシー統計情報を消去するには、**clear bgp policy statistics dampening** コマンドを使用します。

## clear bgp policy statistics dampening

### 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

任意のコマンド モード

### コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

### 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

### 例

次に、ダンプニングのポリシー統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp policy statistics dampening
```

### 関連コマンド

| コマンド                              | 説明                  |
|-----------------------------------|---------------------|
| <b>show bgp policy statistics</b> | BGP ポリシー統計情報を表示します。 |

# clear bgp policy statistics neighbor

BGP ネイバーのポリシー統計情報を消去するには、**clear bgp policy statistics neighbor** コマンドを使用します。

```
clear bgp policy statistics neighbor prefix [default-originate | {filter-list | prefix-list | route-map} {in | out}]
```

## 構文の説明

|                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| <b>prefix</b>            | ネイバー アドレス。形式は x.x.x.x です。             |
| <b>default-originate</b> | (任意) デフォルト開始ポリシーのポリシー統計情報を消去します。      |
| <b>filter-list</b>       | (任意) ネイバー フィルタ リストのポリシー統計情報を消去します。    |
| <b>prefix-list</b>       | (任意) ネイバー プレフィックス リストのポリシー統計情報を消去します。 |
| <b>route-map</b>         | (任意) ネイバー ルート マップのポリシー統計情報を消去します。     |
| <b>in</b>                | (任意) インバウンド ポリシー統計情報を消去します。           |
| <b>out</b>               | (任意) アウトバウンド ポリシー統計情報を消去します。          |

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、集約アドレスのポリシー統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp policy statistics neighbor 192.0.2.1 filter-list in
```

## 関連コマンド

| コマンド                              | 説明                  |
|-----------------------------------|---------------------|
| <b>show bgp policy statistics</b> | BGP ポリシー統計情報を表示します。 |

# clear bgp policy statistics redistribute

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) トポロジ テーブルのポリシー統計情報をクリアするには、**clear bgp policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
clear bgp policy statistics redistribute {direct | eigrp id | ospf id | rip id | static} [vrf
{vrf-name | all | default | management}]
```

## 構文の説明

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>direct</b>       | 直接接続されているルートのポリシー統計情報のみ消去します。  |
| <b>eigrp</b>        | Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) のポリシー統計情報をクリアします。   |
| <b>ospf</b>         | OSPF (Open Shortest Path First) プロトコルのポリシー統計情報を消去します。  |
| <b>rip</b>          | Routing Information Protocol (RIP) のポリシー統計情報を消去します。  |
| <b>static</b>       | IP スタティック ルートのポリシー統計情報を消去します。  |
| <b>id</b>           | <b>eigrp</b> キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。<br><br><b>ospf</b> キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 |
| <b>vrf vrf-name</b> | (任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF 名は、32 文字以下の英数字文字列です。   |
| <b>all</b>          | (任意) 「すべての」 VRF インスタンスを指定します。  |
| <b>default</b>      | (任意) デフォルトの VRF を指定します。  |
| <b>management</b>   | (任意) 管理 VRF を指定します。  |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、RIP のポリシー統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear bgp policy statistics redistribute rip 201
```



## 関連コマンド

| コマンド                                    | 説明                  |
|---|---------------------|
| <code>show bgp policy statistics</code> | BGP ポリシー統計情報を表示します。 |

# clear ip bgp

BGP ルートを BGP テーブルから消去するには、**clear ip bgp** コマンドを使用します。

```
clear ip bgp {ipv4 {unicast | multicast} | all} {neighbor | * | as-number | peer-template
name | prefix} [vrf vrf-name | all | default | management]
```

## 構文の説明

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| <b>ipv4</b>                      | (任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>unicast</b>                   | ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>multicast</b>                 | マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。  |
| <b>all</b>                       | すべてのアドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。  |
| <i>neighbor</i>                  | ネットワーク アドレス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。  |
| *                                | すべての BGP ルートをクリアします。   |
| <i>as-number</i>                 | 自律システム (AS) 番号。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。  |
| <b>peer-template</b> <i>name</i> | BGP ピア テンプレートを指定します。63 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。                             |
| <i>prefix</i>                    | 選択されたアドレス ファミリからのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。                              |
| <b>vrf</b> <i>vrf-name</i>       | (任意) 特定の VPN ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 |
| <b>all</b>                       | (任意) すべての VRF エントリから BGP 情報をクリアします。  |
| <b>default</b>                   | (任意) デフォルト VRF から BGP 情報をクリアします。   |
| <b>management</b>                | (任意) 管理 VRF から BGP 情報をクリアします。  |

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、IPv4 アドレス ファミリのすべての BGP エントリをクリアする例を示します。

```
switch# clear ip bgp *
```

# clear ip bgp dampening

BGP ルート フラップ ダンプニング情報を消去するには、**clear ip bgp dampening** コマンドを使用します。

```
clear ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] dampening [neighbor | prefix]
[vrf vrf-name | all | default | management]
```

## 構文の説明

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>ipv4</b>         | (任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を消去します。   |
| <b>unicast</b>      | (任意) ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。  |
| <b>multicast</b>    | (任意) マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報をクリアします。   |
| <b>all</b>          | (任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を消去します。  |
| <b>neighbor</b>     | (任意) 選択したアドレス ファミリのネイバー。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。  |
| <b>prefix</b>       | (任意) 選択したアドレス ファミリのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。  |
| <b>vrf vrf-name</b> | (任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 |
| <b>all</b>          | (任意) すべての VRF エントリから BGP 情報をクリアします。  |
| <b>default</b>      | (任意) デフォルト VRF から BGP 情報をクリアします。   |
| <b>management</b>   | (任意) 管理 VRF から BGP 情報をクリアします。  |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

任意のコマンド モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、BGP ルート フラップ ダンプニング情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip bgp dampening
```

# clear ip bgp flap-statistics

BGP ルート フラップ統計情報を消去するには、**clear ip bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

**clear ip bgp flap-statistics** [*neighbor* | *prefix*] [**vrf** *vrf-name* | **all** | **default** | **management**]

| 構文の説明                      |  |  |
|----------------------------|--|--|
| <i>neighbor</i>            | (任意) 選択したアドレス ファミリからのネイバー。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D です。  |  |
| <i>prefix</i>              | (任意) 選択したアドレス ファミリからのプレフィックス。形式は、IPv4 の場合は A.B.C.D/length です。  |  |
| <b>vrf</b> <i>vrf-name</i> | (任意) 特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) インスタンスを指定します。VRF 名には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。 |  |
| <b>all</b>                 | (任意) すべての VRF エントリから BGP 情報をクリアします。  |  |
| <b>default</b>             | (任意) デフォルト VRF から BGP 情報をクリアします。   |  |
| <b>management</b>          | (任意) 管理 VRF から BGP 情報をクリアします。  |  |

コマンド デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

| コマンド履歴 | リリース        | 変更内容            |
|--------|-------------|-----------------|
|        | 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、BGP ルート フラップ統計情報をクリアする例を示します。

```
switch# clear ip bgp flap-statistics
```

# client-to-client reflection

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) ルート リフレクタからクライアントへのルート リフレクションをイネーブルにするか、または復元するには、**client-to-client reflection** コマンドを使用します。クライアント間のルート リフレクションをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**client-to-client reflection**

**no client-to-client reflection**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

クライアント間のルート リフレクションは、デフォルトでイネーブルです。ルート リフレクタが設定されると、そのルート リフレクタには、クライアントから他のクライアントへのルートが反映されます。

## コマンド モード

ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

デフォルトでは、ルート リフレクタのクライアントは完全にメッシュ化されている必要はなく、クライアントからのルートは他のクライアントに反映されます。ただし、クライアントが完全にメッシュ化されている場合、ルート リフレクションは必要ありません。この場合、クライアント間のリフレクションをディセーブルにするには **no client-to-client reflection** コマンドを使用します。

## 例

次に、ルータをルート リフレクタとして設定する例を示します。

```
switch(config)# router bgp 50000
switch(config-router)# address-family ipv4 multicast
switch(config-router-af)# client-to-client reflection
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

| コマンド                            | 説明   |
|---------------------------------|--|
| <b>address-family (BGP ルータ)</b> | 標準 IPv4 アドレス プレフィックスを使用するルーティング セッションを設定するために、ルータをアドレス ファミリ コンフィギュレーション モードにします。 |
| <b>show ip bgp</b>              | BGP ルーティング テーブル内のエントリを表示します。   |

# confederation

ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) の連合パラメータを設定するには、**confederation** コマンドを使用します。

**confederation** {**identifier** | **peers**} *as-number*

## 構文の説明

|                   |  |
|-------------------|--|
| <b>identifier</b> | ルーティング ドメイン連合の自律システム (AS) 番号を設定します。  |
| <b>peers</b>      | BGP 連合にピア AS 番号を設定します。   |
| <i>as-number</i>  | Autonomous System (AS; 自律システム) 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数> 形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。 |

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション モード  
ルータ VRF モード

## コマンド履歴

| リリース        | 変更内容            |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、連合識別情報を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# router bgp 65536.33
switch(config-router)# confederation identifier 65536.33
```

## 関連コマンド

| コマンド            | 説明                |
|-----------------|-------------------|
| <b>show bgp</b> | BGP に関する情報を表示します。 |